

FUKAYA News Release

市長定例記者会見次第

令和6年12月20日（金）
午前10時30分～

1. あいさつ

2. 発表内容

ページ

- | | |
|--|---|
| (1) 【地域通貨ネギーがさらに使いやすく！】 | 1 |
| 個人間送金機能導入と利用促進キャンペーンを実施 | |
| (2) 【まちなか5.1kmを最先端の自動運転技術で走る】 | 2 |
| 2年連続で『自動運転バス試乗会』を開催 | |
| (3) 【栄一翁の精神を受け継ぐ子どもが論語の里を案内】 | 4 |
| 『渋沢栄一翁 ジュニアボランティアガイド』がデビュー！ | |
| (4) 【Hello から始まる Enjoy English in Fukaya !!】 | 5 |
| 継続して『生きた英語』を学ぶ深谷の英語教育 | |

次回日程 定例記者会見

会場：市長公室

日時：令和7年1月28日（火）午前10時30分～11時30分

地域通貨ネギーがさらに使いやすく！

個人間送金機能導入と利用促進キャンペーンを実施

■ 概要

12月20日（金）に、地域通貨ネギーの新たな機能として、少額の送金などに便利な、対面での『個人間送金機能』を導入します。

また、導入に併せて、多くの方々に『個人間送金機能』を利用いただくため、1,000negi以上の個人間送金をしたかたを対象に、300negiを進呈する利用促進キャンペーンを実施します。

キャンペーンを年末年始にかけて実施し、忘年会や新年会などで割り勘や新年を祝うお年玉などの場面で、現金と同じ感覚で利用していただくことで、地域通貨ネギーの利用者の増加や利用者間のコミュニケーションの活性化を図ります。

【個人間送金機能とは】

地域通貨ネギーのユーザー同士で、銀行口座を介さず銀行振込のような感覚で送金できる仕組みのこと。現金を用意する手間が省け、手数料もかからないため、少額の送金などに便利な機能。

■ 『ネギーで交流！ポイントゲットキャンペーン』

・内容

個人間送金機能を利用して、1,000negi以上を送金・受領した双方のかたに、300negiを進呈

※1回1,000negi以上の個人間送金が対象

※1アカウントあたりに進呈されるネギーの上限は3,000negi

※同一アカウント同士は、1回目のみ対象

※出産子育て応援ギフトを除くネギー（マネー・ポイント）が対象

・対象者

アプリ版地域通貨ネギー利用者のうち、アプリ版地域通貨ネギーのアカウント情報に個人情報（氏名、生年月日、性別、住所）を入力済みのかた

・対象期間

12月20日（金）～令和7年1月31日（金）

・進呈時期

令和7年2月中旬

■ 問い合わせ先

深谷市産業振興部 産業ブランド推進室 ☎048 - 577 - 3819

まちなか5.1kmを最先端の自動運転技術で走る 2年連続で『自動運転バス試乗会』を開催

■ 概要（目的）

深谷市では、バスの運転手不足などの交通課題解決に向けて、市内公共交通への自動運転技術の導入を目指しています。

令和5年6月には、埼玉工業大学をはじめとした7事業者と『深谷自動運転実装コンソーシアム』を結成し、国土交通省の『地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業）』に、県内で唯一、2年度連続で採択されるなど自動運転レベル4の実現に向けた取り組みを進めています。

このたび、この補助金を活用して購入した『自動運転EVバス』を使用し、自動運転レベル2により、市内公道を運行する実証運行を実施します。

これに伴い、自動運転への理解促進のため、自動運転バスの試乗会を開催します。



▲試乗会で使用する『自動運転EVバス』

■ 実施期間

令和7年2月10日（月）～12日（水）

- ・関係者優先枠＝2月10日（月）・12日（水）
- ・報道関係者枠＝2月10日（月）午前11時30分～11時50分
- ・一般募集枠＝2月11日（祝）

※報道関係者枠は、令和7年1月24日（金）まで受け付け

【出発式】

- ・とき 令和7年2月10日（月）午前11時～
- ・ところ 深谷駅市民サービスセンター・ギャラリー1

■ 試乗会参加者の一般募集（事前応募の上、抽選）

- ・対象 小学生以上の市内在住者（小学生は保護者の同伴が必要）
- ・募集人数 80人 ※全8枠（1枠あたり最大10人乗車可）
- ・応募方法 12月23日（月）から令和7年1月14日（火）までに深谷市スマート申請（電子申請）

■ 運行ルート

JR 深谷駅南口を発着地点とした約 5.1 km



■ 自動運転バスの概要

運行は、深谷観光バス株式会社が担当します。

車両規格	全長7.24m×車幅2.30m×高さ3.06m
乗車定員	28人(着席15人) ※本試乗会では最大10人
自動運転レベル	レベル4相当 ※本試乗会ではレベル2(運転手有)で走行
最高速度	70km/h ※自動運転時は35km/hで走行予定
センシングシステム	LiDAR、カメラ、RADAR

【参考】『深谷市自動運転コンソーシアム』

次の8事業者が『深谷自動運転実装コンソーシアム』の連携協定を令和5年6月27日に締結しました。

- ・ 深谷市(市長：小島 進)
- ・ 埼玉工業大学(本部：埼玉県深谷市、学長：内山 俊一)
- ・ A-Drive 株式会社(本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：岡部 定勝)
- ・ アイサンテクノロジー株式会社(本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：加藤 淳)
- ・ 損害保険ジャパン株式会社(本社：東京都新宿区、代表取締役社長：石川 耕治)
- ・ KDDI 株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長 CEO：高橋 誠)
- ・ 株式会社ティアフォー(本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：加藤 真平)
- ・ 深谷観光バス株式会社(本社：埼玉県深谷市、代表取締役：高田 勇三)

■ 問い合わせ先

深谷市都市整備部 都市計画課 (担当：荒谷、飯野、真下)
 ☎048 - 574 - 6654、メール：toshi@city.fukaya.saitama.jp

栄一翁の精神を受け継ぐ子どもが論語の里を案内 『渋沢栄一翁 ジュニアボランティアガイド』がデビュー！

■ 概要

深谷市では、新紙幣発行後、旧渋沢邸『中の家』には、リニューアル後から10万人が訪れるなど、多く観光客が来訪しています。

このような中、深谷市では、ふるさとを愛し、次代を担う子どもたちの育成を目指す『ふるさと教育』を推進しており、その取り組みの一つとして、渋沢栄一翁の功績や精神を学んだ市内小・中学校の有志の子どもたちが語り手となり、栄一翁ゆかりの論語の里エリアにある渋沢栄一記念館・旧渋沢邸『中の家』を紹介・案内するジュニアボランティアガイドの育成を行っています。

このたび、10～12月に開催された全8回の講座を受講し、令和6年度、ジュニアボランティアガイドとして認定された子どもたちが、令和7年1月からガイド活動を開始します。

この取り組みを通して、子どもたちの地域貢献の意識や地域を愛する心を育み、未来のリーダーとなる人材の育成と、持続可能なまちづくりを進めていきます。



▲昨年度の活動の様子

■ 『渋沢栄一翁 ジュニアボランティアガイド』の内容

・活動日

回	とき	
第1回	令和7年1月11日（土）	・午前10時～正午 ・午後1時～3時
第2回	2月 8日（土）	・午前10時～正午 ・午後1時～3時

・活動場所

渋沢栄一記念館、旧渋沢邸『中の家』

・活動人数

13人（小学校4年生～中学校1年生）

【論語の里】

栄一翁は幼少期に従兄の尾高惇忠おだかじゅんちゆうの家へ通って『論語』を学び、生涯を通じて親しんだことから、旧渋沢邸『中の家』と尾高惇忠生家を結ぶ一帯の、関連する史跡が多く残る地域を総称して『論語の里』と呼ぶ

■ 問い合わせ先

深谷市教育委員会教育部 学校教育課（担当：高橋尚希）

☎048 - 572 - 9578

Helloから始まる Enjoy English in Fukaya!!

継続して『生きた英語』を学ぶ深谷の英語教育

■概要

深谷市では、郷土の偉人渋沢栄一翁が世界に目を向け、現在の日本社会の礎を築いたことから、『渋沢栄一翁の心を受け継ぐ教育』を基本理念に掲げ、英語教育にも力を入れています。

令和6年度は、市内全小学校が文部科学省の教育課程特例校の認定を受け、英語教育について、学習指導要領によらない特別な教育課程を編成し、『話すこと』『聞くこと』を充実させるための、カリキュラムや教育活動を行っています。実施にあたっては、市立幼稚園、小・中学校への外国語指導助手（以下、ALT）の派遣を拡充することで、幼稚園、小学校1・2年生からコミュニケーションを基盤にした『英語活動』を行い、発達段階に応じた英語教育を行っています。

これらの取り組みにより、子どもたちが『英語が通じた』と実感できる『生きた英語』を学ぶための環境を整備しています。

■令和6年度から行っている英語教育の拡充内容など

【1週間あたりのALTの配置時間を拡充】

対象（市立）	令和5年度	令和6年度
幼稚園 全学級	毎週1時間程度	毎週1時間 (英語活動)
小学校1・2年生 全普通学級	配置なし	毎週1時間 (英語活動)
小学校3・4年生 全普通学級	毎週1時間	毎週1時間
小学校5・6年生 全普通学級	毎週1～2時間	毎週2時間
中学校 全普通学級	毎週1～2時間	毎週3時間以上

【市立幼稚園クリスマス会の実施】

12月18日～23日（月）にALTを派遣し、ALTがサンタクロース役になって各園でクリスマス会を行っている。令和6年度から『英語活動』の一環に位置づけ実施する。



■期待する効果

- ・幼稚園から発達段階に応じて楽しく英語に触れるカリキュラムを実施することで、子どもたちが『生きた英語』に触れる機会が増え、ALTとの触れ合いを通して、さまざまな国やそこで話される言葉、外国と日本の文化・習慣の違いなどへの興味関心を高めることができる。
- ・幼稚園、小学校、中学校における継続した英語教育を通して、『人と関わり合い、響き合う人づくり』を推進し、子どもたちの英語によるコミュニケーション能力の育成と、変化が激しいグローバル社会に適応し、国際社会を生きることのできる子どもたちの育成を図ることができる。

■これまでの深谷市における外国語教育活動の経緯

- ・平成24～30年度、教育課程の特例申請を行い市内小学校において、小学校3年生からの外国語活動を導入
- ・令和2年度から全国的に、小学校3・4年生で週1時間、5・6年生で週2時間の外国語教育が教科として位置付けられたことから、中学校英語への円滑な接続ができる計画的な指導を実施

■問い合わせ先

深谷市教育委員会教育部 学校教育課（担当：松島）

☎048 - 572 - 9578